

決算説明会

2025年12月期（第18期）第1四半期

2025年5月 東証 グロース：4579

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。

- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

■ ビジネスハイライト	…	4
■ 第1四半期業績	…	6
■ 上市製品・研究開発パイプラインの状況	…	11
■ HK inno.N Corporationとの資本業務提携	…	19
■ 資金の状況と配分	…	28
■ 今後のカタリスト	…	30
■ 組織・人事等	…	32

ビジネスハイライト

innovators for life

連結経営成績

事業収益965百万円（前年同期比48.8%増）

- 営業利益 93百万円、経常利益 29百万円、四半期純損失 5百万円、EBITDA 209百万円

上市品の状況

テゴプラザンのグローバル展開は引き続き順調に進展

- HK inno.N Corporation（HK inno.N社）による韓国での販売は好調に推移。胃酸分泌抑制剤の韓国国内シェア No. 1 を維持
- 新たに豪州・ニュージーランドを対象としたサブライセンスが成立（豪・Southern XP IP Pty Ltd）
- 世界15カ国で販売中。その他世界33カ国で開発・承認申請・発売準備中
- 米国で実施中の第III相臨床試験において良好なトップラインデータ（2025年4月24日発表）

ペット用医薬品のロイヤルティ収益も順調に推移

- GALLIPRANT®/ENTYCE™/ELURA™：前期に引き続き順調な売上推移

資本業務提携

HK inno.N社との資本業務提携

- 当社の長年のパートナーであるHK inno.N社との間で、資本業務提携を実施

導出活動

テゴプラザン（日本）ほかの導出準備プログラムについて導出活動中

- テゴプラザン（日本）については2025年12月期の成約を目指して交渉中

子会社

ファイメクス

- 2025年3月、アステラス製薬株式会社との共同研究において目標達成による一時金200百万円を受領

テムリック

- ライセンス先のSyros Pharmaceuticalsとのライセンス契約が終了（2025年4月11日発表）

第 1 四半期業績

innovators for life

単位：百万円

	2024年12月期 第1四半期	2025年12月期 第1四半期	前年同期比 増減率
事業収益	648	965	+ 48.8%
営業利益	44	93	+ 109.2%
経常利益	△77	29	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△78	△5	-
EBITDA ¹⁾	89	209	+ 134.8%

1) EBITDA: 利払・税引・減価償却前利益

通期計画 3,888百万円に対し、当第1四半期で 965百万円を計上

対前年同期比

+48.8%

通期計画達成率

24.8%

内訳)

ロイヤルティ 614百万円

+11.3%

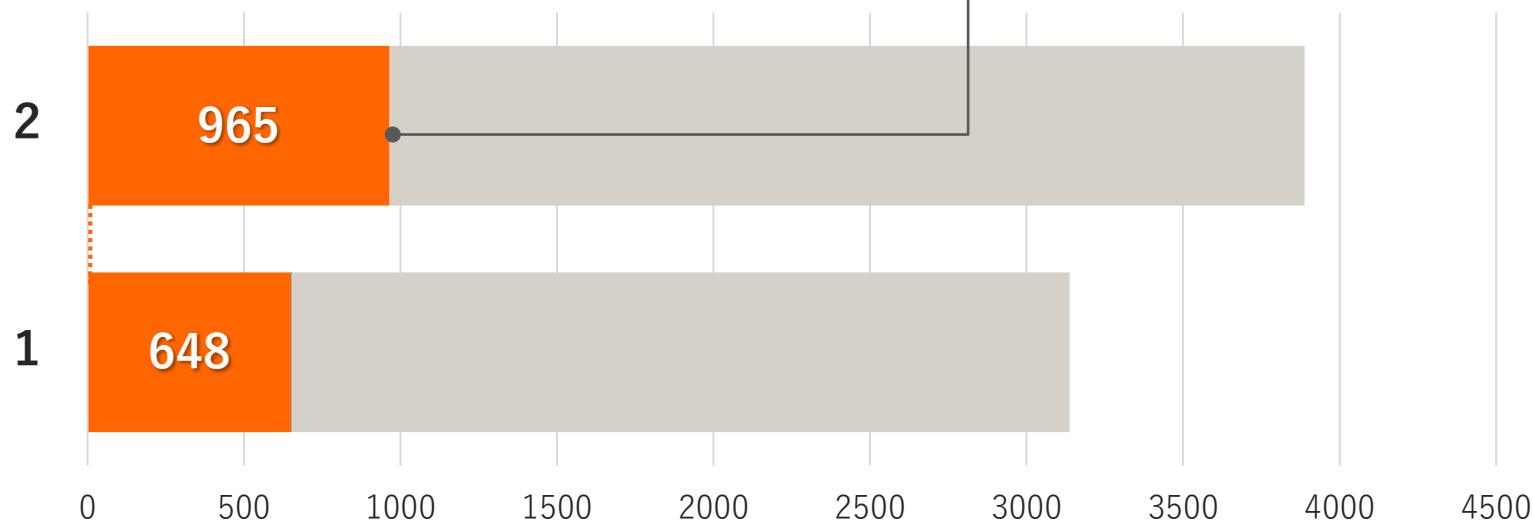
その他 351百万円

+262%

(契約一時金・マイルストーン・研究協力金を含む)

対前年比

単位：百万円



通期

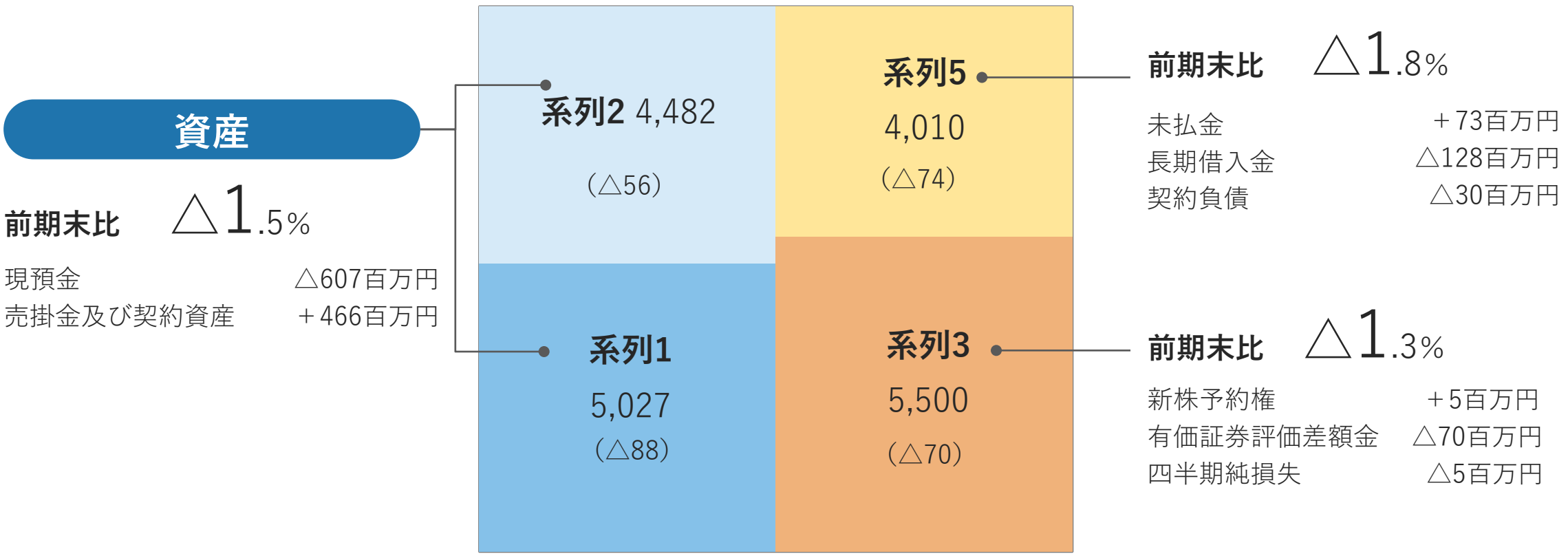
計画 3,888 百万円

実績 3,107 百万円

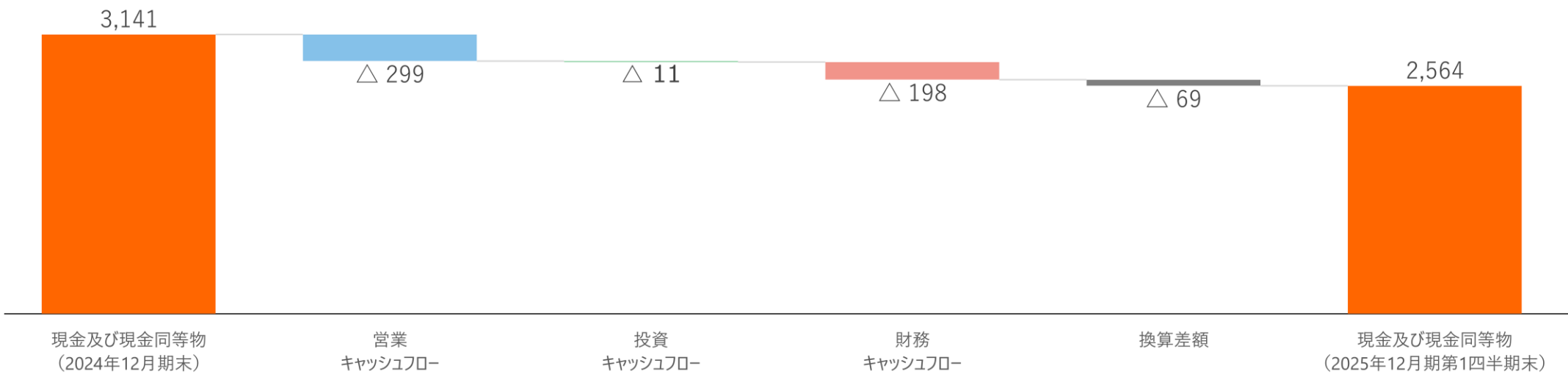
2024年12月期末から大きな変化なし
自己資本比率 57.5%（前期末比 0.1ポイント増）

連結貸借対照表（対前期末比較）

単位：百万円



現金および現金同等物は前期末比577百万円減少（18.4%減）



	営業キャッシュフロー		投資キャッシュフロー		財務キャッシュフロー	
主な増加要因	税金等調整前四半期純利益	29百万円	定期預金の払戻	200百万円	なし	
	のれん償却額	70百万円				
	減価償却費	47百万円				
	未払金の増加	66百万円				
主な減少要因	売上債権の増加	466百万円	定期預金の預入	200百万円	長期借入の返済	128百万円
	契約負債の減少	30百万円	有形固定資産の取得	11百万円	子会社株式の取得	50百万円
	未収消費税等の増加	29百万円			リース債務の返済	18百万円

上市製品・ 研究開発パイプラインの状況

innovators for life

種別	一般名・作用機序	適応症	主な製品名・販売元
 ヒト用	テゴプラザン カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB)	<ul style="list-style-type: none"> 胃食道逆流症 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 ほか	K-CAB® (韓国) HK inno.N Corporation (「HK inno.N社」) <small>タイシンザン</small> 泰欣贊® (中国) Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock Co., Ltd. ほか
	グラピプラント EP4拮抗薬	<ul style="list-style-type: none"> 犬の慢性骨関節炎 	GALLIPRANT® (日米欧ほか) Elanco Animal Health Inc. (「Elanco社」)
  ペット用	カプロモレリン グレリン受容体 作動薬	<ul style="list-style-type: none"> 犬の食欲不振 	ENTYCE™ (米国) Elanco社
		<ul style="list-style-type: none"> 猫の体重減少管理¹⁾ 	ELURA™ (米国) Elanco社 Eluracat™ (欧州)、エルーラ™ (日本)

1) 適応症は国・地域によって異なり、米国では「慢性腎疾患またはその他の慢性疾患を伴う猫の体重減少管理」となっています。

カリウムイオン競合型アシッドブロッカー（P-CAB） 胃酸分泌抑制剤テゴプラザン

（2025年4月30日現在）



一般名 tegoprazan（テゴプラザン）

適応症 胃食道逆流症、消化性潰瘍、ピロリ菌除菌療法
ほか

販売元 HK inno.N Corporation（韓国／HK inno.N社）
Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock
Co., Ltd.（中国／Luoxin社）ほか

製品名 K-CAB®（韓国ほか）、泰欣赞®（中国）、Ki-
CAB®（メキシコほか）



胃酸に関わる疾患は数多い

胃食道逆流症（GERD）、胃潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ感染症など



既存薬（プロトンポンプ阻害剤（PPI））の課題を克服

- ✓ 服用30分以内の速やかな効果
- ✓ 最長6カ月の長期服用でも有効性・安全性が持続
- ✓ 強力な胃酸分泌抑制能
- ✓ 低い薬物相互作用



世界の消化性潰瘍剤の市場は2兆円規模¹⁾

中国 4,500億円¹⁾、米国 4,000億円¹⁾、日本 2,500億円



日本を除く地域の権利をHK inno.N社に許諾

当社は開発の進捗に応じたマイルストーン/製品売上に応じたロイヤルティを受け取る



韓国・中国など15カ国²⁾で販売中

このほか33カ国に進出

¹⁾ 出所：HKイノエン社IR資料「韓国版」（2023年11月）、換算レート：1韓国ウォン=0.10円

²⁾ 韓国、中国、モンゴル、フィリピン、インドネシア、シンガポール、メキシコ、ペルー、チリ、コロンビア、ドミニカ共和国、ニカラグア、ホンジュラス、グアテマラおよびエルサルバドル

48カ国に進出し、承認国も順調に拡大しながら全世界に進展中

(2025年5月15日現在)

韓国においては**発売以来2桁成長を維持**し、右肩上がりの好調な売上推移

世界15カ国で販売中

2028年までに**100カ国進出**へ



北米での臨床開発が進展



P3試験で良好な
トップライン結果
(2025年4月24日発表)

NEW

サブライセンス地域の拡大

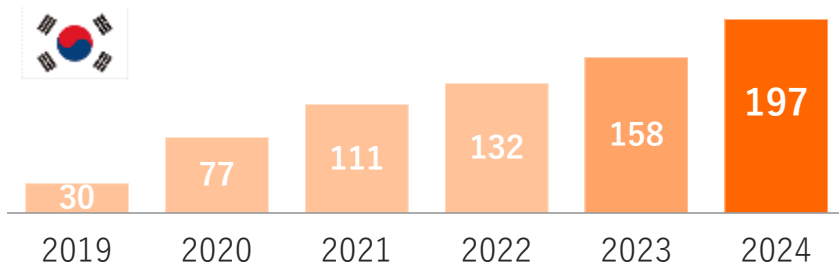


オーストラリア
ニュージーランド
北アフリカ 6カ国
(2025年5月7日発表)

NEW

K-CAB®の韓国における売上高¹⁾

(単位：億円)



その他の主要な国・地域における販売・開発状況

P3試験実施中・申請準備中

米国、カナダ、ブラジル、南アフリカ・東欧等6カ国、中東・北アフリカ地域

承認審査中

ベトナム、中南米7カ国

承認済・発売準備中

マレーシア、タイ、パラグアイ

1) 院外処方実績（暫定値を含む）
換算レート：1韓国ウォン=0.10円

第III相臨床試験（TRIUMpH試験）

- Sebelo Pharmaceuticals社（セベラ社）の一部門であるBraintree Laboratoriesが2022年10月に開始
- びらん性胃食道逆流症（EE）および非びらん性胃食道逆流症（NERD）を対象としたピボタル試験
- 対照薬：ランソプラゾール（プロトンポンプ阻害薬（PPI））・プラセボ

TRIUMpH試験の有効性評価項目（出所：clinicaltrials.gov (<https://clinicaltrials.gov/>)）

	びらん性胃食道逆流症（EE）（n=1,250）	非びらん性胃食道逆流症（NERD）（n=800）
主要 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 8週目までに完全治癒した全ての患者の割合（非劣性） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 24 時間胸焼けのない日の割合（4週目）
副次的 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 24時間胸やけのない日の割合（非劣性） ● 8週目までに完全治癒したLAグレードCまたはDの患者の割合（優越性） ● 2週目までに完全治癒したLAグレードCまたはDの患者の割合（優越性） ● 8週目までに完全治癒した全ての患者の割合（優越性） ● 2週目までに完全治癒した全ての患者の割合（優越性） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 胸やけおよび胃酸逆流が完全に消失した患者の割合（4週目）

2025年4月

NEW

EEとNERDの両方において、全ての主要評価項目および副次的評価項目を達成
安全性および忍容性は、プラセボおよびランソプラゾールと同程度

NEXT

本年第3四半期に試験完了、第4四半期に承認申請を予定

テゴプラザンが胃食道逆流症の画期的な治療選択肢となる可能性が大規模臨床試験の結果で示された

市場環境

- 世界の消化性潰瘍剤の市場規模は2兆円以上（中国 4,500億円、米国 4,000億円、日本 2,500億円）
- 胃食道逆流症の第一選択薬はPPI
- 米国ではPPIで症状が完全に緩和されない患者さんが約4割（Chey WD, Mody RR, Izat E. Dig Dis Sci. 2010）

胃食道逆流症で苦しむ患者さんのアンメットニーズに応える結果

びらん性胃食道逆流症（EE）

びらん・胸やけの完全治癒

PPI（ランソプラゾール）を上回る

“P-CABがPPIを凌駕する可能性を示しており、テゴプラザンが他の薬剤よりも優れている可能性を示唆”

Felice Schnoll-Sussman, MD
米・ワイルコーネル大医大教授

非びらん性胃食道逆流症（NERD）

胸やけ・胃酸逆流の完全消失

プラセボに比べて改善

“これまでの医学研究では、テゴプラザンのように胃酸逆流の減少を測定して証明することができなかった”

Prateek Sharma, MD
米・カンザス大医学部教授

TRIUMpH試験

PPI/プラセボと同程度に安全

出所：2025年4月24日発表「胃酸分泌抑制剤tegoprazanの米国における第III相臨床試験（TRIUMpH試験）の良好なトップライン結果を発表」

既販売国での順調な売上げ推移に加え、新たな国・地域での承認・販売で価値最大化へ



EP4拮抗薬

GALLIPRANT®

- 日米欧ほかで販売中
- 2021年にブロックバスター製品¹⁾に成長²⁾

一般名	grapiprant (グラピプラント)
適応症	犬の慢性骨関節炎
販売元	Elanco Animal Health, Inc. (米国／Elanco社)



グレリン受容体作動薬

ENTYCE™

ELURA™

米国で販売中

米国・欧州・日本で販売中

一般名	capromorelin (カプロモレリン)
適応症	犬の食欲不振 (ENTYCE™) 慢性腎疾患またはその他の慢性疾患を伴う猫の体重減少管理 ³⁾ (ELURA™) ほか
販売元	Elanco社

1) ここでは年間売上げが100億円を超える規模の製品のことをブロックバスターと称しています; 2) Elanco社 2021年度決算発表 (2022年2月24日); 3) 適応症は国・地域によって異なります。

(2025年5月15日現在)

NEW トピックス

- 特定の神経疾患に関するノウハウを対象とした独占的ライセンス契約を日産化学社と締結
- 子会社ファイメクスがアステラス製薬社との共同研究において、次段階の初期目標を達成
(一時金 2億円)
- 子会社テムリックとSyros Pharmaceuticals社の間のライセンス契約が終了
(2025年4月11日)



導出済み

導出準備



注1) 前臨床段階以降にあるプログラムについて標的疾患ごとにわけて表示しています。

注2) 国・地域によって開発段階に差がある場合は、最も進んだ段階を表示しています。

詳細につきましては当社ウェブサイト (<https://www.raqualia.com/ja/index.html>) の「パイプライン」にてご確認ください。

HK inno.N Corporationとの 資本業務提携

innovators for life

資金調達および割当予定先と当社との間の戦略的なパートナーシップの構築を目的として、当社の長年のパートナーであるHK inno.N Corporation（HK inno.N社）との間で、資本業務提携を実施

資本業務提携の概要	
資本業務提携の目的	1. 資金調達による財務基盤の強化 2. 割当予定先との連携による研究開発ほかの分野での相乗効果
発行決議日	2025年3月21日（金）
払込期日	2025年4月18日（金）
発行新株式数	普通株式2,592,100株
発行価額	1株当たり397円（2025年3月19日終値）
調達資金の額 （差引手取概算額）	1,017,847,700円
増加する資本金及び 資本準備金の額	資本金 514,531,850円（1株につき、198.5円） 資本準備金 514,531,850円（1株につき、198.5円）
募集又は割当の方法	第三者割当の方法
業務提携の主な内容	1. テゴプラザンの日本国内での事業化に関する協力 2. 当社が保有する開発化合物の価値向上に関する協力 3. 共同研究の実施 4. その他の研究開発に関する協力

40年以上の製薬事業の歴史を持つKOSDAQ上場企業

会社概要・沿革	
名称	HK inno.N Corporation
所在地	239, Osongsaengmyeong 2-ro, Osong-eup, Heungdeokgu, Cheongju-si, Chungcheongbuk-do, Republic of Korea
代表者	Kwak, Dal-won
設立年月日	2014年4月1日
事業内容	医薬品製造
資本金	14,452,249,500 ウォン (約1,445百万円、1ウォン=0.10 円)
発行済株式数	28,329,891株
大株主（持株比率）	Kolmar Korea Co., Ltd. (43.01%) 国民年金公団 (6.135%) HK inno.N Corp. ESOA (4.984%)
主な沿革	1984 CJ CheilJedang（CJ第一製糖）社製薬事業部として事業開始 1992 二日酔い解消剤「コンディション」を発売 2014 分社化によりCJ Healthcare社設立 2018 買収によりKolmarグループに編入 2020 HK inno.N Corporationに社名変更

ブランドスローガン

innovate New & Next

Innovation



New
Novel creation

&(N)
Connection of
possibilities

Next
Future
pharmaceuticals

ロゴマーク

inno.N

Kolmar Groupは、持株会社Kolmar Holdingsを中心に関連会社が化粧品・医薬品・保健機能食品事業を実施
韓国のみならず、中国や北米市場でも活躍するグローバル企業グループ



その他の中核企業：

- **Kolmar Korea**：韓国初の化粧品ODM¹⁾企業。世界初の化粧品・医薬品・保健機能食品融合研究センターを設立
- **Kolmar BNH**：韓国最大の保健機能食品ODM企業。業界最大規模の年間7千億ウォンの国内生産能力を保有

1) **ODM**: Original Design Manufacturingの略。受託者が製品の製造だけでなく、開発、設計、デザインなども請け負う形態

テゴプラザン（韓国製品名：K-CAB®）を含む医療用医薬品事業に加えて
二日酔い予防/軽減用製品「コンディション」などの健康・美容領域にも事業を展開

inno.N

医療用医薬品



消化器疾患



心血管疾患



輸液



腎・内分泌疾患

健康・美容



二日酔い予防/軽減



健康飲料



ヘアケア

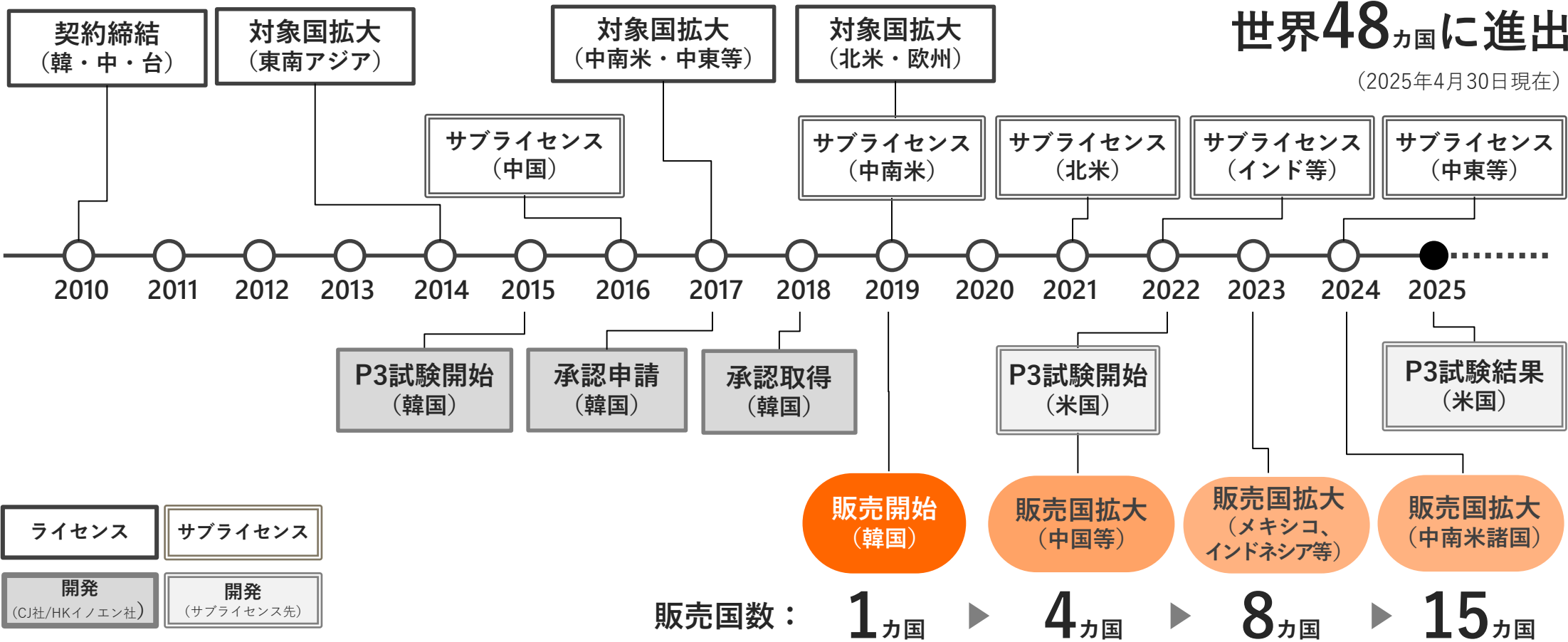


スキンケア

テゴプラザンをグローバル新薬に成長させた両社の連携をさらに深め、
第2、第3のテゴプラザンを生み出すことが次なる目標

世界48カ国に進出

(2025年4月30日現在)



注) 事柄を限定して記載しています。

創薬事業において恒常的に新薬を創出できる体制構築のための研究開発投資等に充当する予定

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① 新規モダリティをはじめとする 創薬研究基盤の強化	341	2025年5月～2027年12月
標的タンパク質分解誘導剤（TPD）、mRNA標的的低分子をはじめとする新規モダリティと それに関連した基盤技術に関連した研究開発投資		
② 開発パイプラインの拡充	426	2025年5月～2027年12月
グレリン受容体作動薬やIRAK-M分解誘導薬などの自社パイプラインから選択したプログラムについて、 より価値を高めて導出するための各種データの取得や、前臨床・臨床試験の実施又は準備に係る研究開発投資		
③ ラボの設備強化	250	2025年5月～2027年12月
探索研究活動の業務の効率化や成功確率を高めるための設備投資		
合計	1,017	

主要株主および主要株主である筆頭株主の異動

2025年12月期
第1四半期

大株主及び持株比率			
募集前（2024年12月31日現在）		募集後	
氏名	持株比率（％）	氏名	持株比率（％）
柿沼 佑一	10.92％	HK inno.N Corporation※	10.61％
ファイザー株式会社	3.40％	柿沼 佑一	9.76％
BOFAS INC SEGREGATION ACCOUNT （常任代理人 BOFA証券株式会社）	3.15％	ファイザー株式会社	3.04％
上田八木短資株式会社	1.31％	BOFAS INC SEGREGATION ACCOUNT （常任代理人 BOFA証券株式会社）	2.81％
東京短資株式会社	1.24％	上田八木短資株式会社	1.17％
陳 元	1.18％	東京短資株式会社	1.11％
株式会社エス・ビー・シー	1.09％	陳 元	1.06％
株式会社アドバンスト・メディア	1.02％	株式会社エス・ビー・シー	0.97％
小野 一成	0.91％	株式会社アドバンスト・メディア	0.92％
田名後 貴裕	0.81％	小野 一成	0.82％

※実際の名義は異なるものとなる可能性があります。

注1)募集前の大株主及び持株比率は、2024年12月31日現在の株主名簿をもとに算出しています。

注2)募集後の持株比率の割合は、2024年12月31日現在の発行済株式（自己株式を除く。）の総数に、本件により増加する株式の数 2,592,100 株を加算した数を分母として算定したものであり、2025年1月1日以降の取引の状況によって変動が生じている可能性があります。

注3)上記の割合は、小数点第3位を四捨五入して算出しております。

2025年3月21日発表「資本業務提携、第三者割当による新株式の発行並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」から抜粋

第 16 回新株予約権の行使価額の修正

本資本業務提携による新株式発行¹⁾が発行要項に定める条件に該当するため、2023 年 1 月 5 日に CVI Investments, Inc.を割当先として発行した第 16回新株予約権の行使価額を修正

行使価額修正の概要	
新株予約権の名称	第16回新株予約権
発行した新株予約権の総数	12,500個
行使価額の修正日	2025年4月18日（金）
修正前行使価額	1株当たり1,556円
修正後行使価額	1株当たり397円（HK inno.N社に割当てた新株式の発行価額と同額）
修正日前日時点における 本新株予約権の未行使残存個数 （株式数）	12,500 個（1,250,000 株）

本修正の影響

- 本新株予約権による資金調達額は最大約496百万円に減少
- 新株予約権の行使が進む可能性は増大

本資本業務提携で調達した資金約1,000百万円とあわせ、成長投資を着実に実行してまいります

1) 2022年12月20日発表「第三者割当による新株式及び第 16 回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

資金の状況と配分

innovators for life

資金の状況

2025年期中発表 (2025年2月14日)	今回発表 (2025年5月15日)
2025年～2027年の 事業収益見通し 111 億円	2025年～2027年の 事業収益見通し 111 億円
手元資金 (2024年期末) 39 億円	手元資金 (2025年第1四半期末) 32 億円
借入余力 (コミットメントライン) 7 億円	借入余力 (コミットメントライン) 7 億円
エクイティ調達 (新株予約権) 20 億円	エクイティ調達 (HK inno.N) 10 億円
	エクイティ調達 (新株予約権) 4.9 億円

企業価値最大化に向けた投資

資金の配分

2025年期中発表 (2025年2月14日)	今回発表 (2025年5月15日)	株主還元
探索研究投資 ¹⁾ (既存領域の拡充) 63 億円 (3カ年)	探索研究投資 ¹⁾ (既存領域の拡充) 63 億円 (3カ年)	株主配当金 財務基盤強化に 応じて実施予定
前臨床・臨床開発投資 ¹⁾ (プロジェクトの価値向上) 4 億円 (3カ年)	前臨床・臨床開発投資 ¹⁾ (プロジェクトの価値向上) 4 億円 (3カ年)	
設備投資 (既存設備の拡充・ DX投資等)	設備投資 (既存設備の拡充・ DX投資等)	
戦略投資 (創薬技術・パイプ ラインの獲得等)	戦略投資 (創薬技術・パイプ ラインの獲得等)	自己株式の取得 機動的に検討

1) 人件費を含みます。

今後のカタリスト

innovators for life

プログラム		想定適応症	国 地域	研究開発段階	短期 (2025年)	中期 (2026–2027年)	導出先/提携先
テゴプラザン		胃食道逆流症等		フェーズ3	承認申請	承認取得 製品発売	HK inno.N社 Braintree社
				フェーズ1	導出契約締結	国内臨床試験開始	導出先企業
P2X7受容体拮抗薬		疼痛ほか		フェーズ2	開発計画の再検討 & 開発再開 (※詳細は非開示)		旭化成ファーマ社 Lilly社
TRPM8遮断薬		慢性疼痛		フェーズ1	臨床試験の進展（フェーズ1→フェーズ2） (※詳細は非開示)		Xgene社
グレリン受容体作動薬		便秘・悪液質	全世界	前臨床	臨床開発準備 導出活動	導出 臨床試験開始	導出先企業
IRAK-M分解誘導薬		がん (がん免疫)	全世界	前臨床	臨床開発準備 導出活動	導出 臨床試験開始	導出先企業
既存共同研究プログラム		がん	全世界	研究	共同研究の進展（マイルストーン） (※詳細は非開示)		アステラス製薬社
新規共同研究プログラム		未定	全世界	研究	新規契約獲得	新規契約獲得	提携先企業

想定される進捗イベントの内容や時期は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う当社独自の想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

組織・人事等

innovators for life

1. 役員体制（2025年3月25日付）

役職	氏 名
代表取締役	須藤 正樹
取締役	宇都 克裕
取締役（社外）	土屋 裕弘
取締役（社外）監査等委員	石井 幸佑
取締役（社外）監査等委員	柿沼 佑一
取締役（社外）監査等委員	中野 貴之

2. 新任執行役員（2025年4月1日付）

氏 名（フリガナ）	新役職	旧役職
川村 清（カムラ キヨシ）	執行役員 研究開発部門担当	研究開発部門長代理
齋藤 俊之（サイトウ トシキ）	執行役員 事業開発・知的財産部門担当	経営管理部門長代理
志水 幹憲（シズ エトノリ）	執行役員 経営管理部門担当	経営管理部門主幹

3. 退任執行役員（2025年3月31日付）

氏 名（フリガナ）	新役職	旧役職
宇都 克裕（ウ カツヒロ）	取締役 研究開発担当	取締役執行役員 研究開発担当

1. ファイメクス株式会社 新任取締役（2025年3月21日付）

氏 名（フリガナ）	新役職	旧役職
志水 幹憲（シズモトノリ）	取締役CAO	コーポレートディベロップメント VP

2. ファイメクス株式会社 退任取締役（2025年3月31日付）

氏 名（フリガナ）	新役職	旧役職
富成 祐介（トミナリ ユウスケ）	—	取締役

※ファイメクス株式会社の取締役は、宇都克裕（代表取締役）、蒲香苗、志水幹憲の3名であります。

3. テムリック株式会社 新任代表取締役（2025年3月21日付）

氏 名（フリガナ）	新役職	旧役職
須藤 正樹（スドウ マサキ）	代表取締役	取締役

4. テムリック株式会社 退任取締役（2025年3月21日付）

氏 名（フリガナ）	新役職	旧役職
武内 博文（タケウチ ヒロブミ）	—	代表取締役

※テムリック株式会社の取締役は、再任を含め、須藤正樹、宇都克裕の2名であります。

イノベーションの力で、いのちに陽をもたらす



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社